

巻 頭 に

会 長 紅 谷 進 二

本会は1966年5月、再発足20周年の記念総会を神戸支部理事諸君の斡旋によって、神戸女子大学を会場として開催した。記念事業として既刊「兵庫の自然」に大改訂を加え、新製ポケット版として会員諸氏に贈るとともに若干を一般自然愛好者に提供した。この改訂には本部理事諸君の一方ならぬ奉仕と六月社長永井利彦君の犠牲的好意によって新年度の多忙な時を克服し極めて短期間のうちに準備が出来たのである。記念行事としては、その他、千葉大学の沼田教授の植物の生態的観察に関する講演、神戸水族井上館長の水族館に関するもの聞き、開期中神戸水族館において生物に関する展示会を開き一般に公開し視聴を集めた。兵庫の自然の改訂から展示会見学など、神戸市内および阪神、播州全域に及ぶ理事諸君の絶大な協力と努力によって極めて有益なものとなり本会の面目を新たにすることが出来た。

現代生物学セミナーが高校関係諸君を中心として隔月に開催され、新しい生物学の動向を把握するとともにBSCS等欧米生物教育の現状を検討し、正常な生物教育を誤まることなく推進するように努め、高校生物ハンドブックを年毎に版を新たにして平素教師、生徒の参考に供し、大学進学選抜時期には近隣大学当局者との間に懇

談研究の機会を設け、選抜方法による弊を被らないよう年々有意義な会合として進展せしめている。

役員に現職校長中、生物出身の福田、多湖、平内の諸氏を副会長に戴き教育委員会、高校校長会等との連絡を緊密ならしめ諸種教育行政の運営を円滑ならしめんとしている。

機関誌兵庫生物の刊行については編集担当者の計画性・推進性に適切優秀な士を得て年々堅実な歩みをつづけ、内容においても執筆者の真摯な態度が現われますますます充実している。今後ともこの姿がますます進展していくよう望んで止まない。

森先生記念研究奨励金に、さらに三木順一博士の志を加えることができたのは何としても喜びにたえぬことである。

本会の前身神戸博物学会時代から本会のため協力助言を惜しまれない先輩諸氏が、なお多数ご健在であることは後進者の慶びとするところである。

われわれの世界は宇宙に伸び月に軟着しようとしている。生物化学の進歩は生命の原始究明に光明を与えている。今後科学の提携を広め生物学研究の成果を期したいものである。

第21回生物学会総会ご案内

昭和42年度、第21回総会は来る5月下旬に行なわれる。

場 所：姫路市県立姫路東高校講堂

1日めは講演会、研究発表、森博士生物研究奨励金授与、協議：本夏行事の件。第2日めは場所未定、付近見学と採集の会。

なお、研究発表希望の方は県の姫路東高校生物室金沢竜先生あて5月5日までに申込むこと。

この詳しい案内状は4月中旬に、改めて発送します（室井紳）。